

科目名	人 権	科目分類	■専門科目群(第1グループ) □総合科目群(第2グループ)
			法律学科 □必修 ■選択 観光学科 □必修 ■選択
英文表記	Human right	開講年次	■1年 □2年 □3年 □4年
ふりがな	わたべ たかあき	開講期間	□前期 ■後期 □通年 □集中
担当者名	渡部 高明	修得単位	4単位
授業のテーマ	日本国憲法は、今日、国民的議論の対象となっている。そうした中、人権の意義と憲法条文の解釈、および憲法判例の理解をテーマとする。		
授業概要	憲法の意義、日本国憲法の成立と展開、人権規定の内容と判例を、とりわけ戦後の憲法学をリードしてきた芦部信喜教授のテキストを中心に理解することで、現代人権論の基本的考え方を学ぶ。		
到達目標	憲法の存在意義と人権の必要性、具体的な裁判事例を理解することができる。		
授業時間外の学習	まずテキストを1回の授業分は必ず読んでくること。そして、単に講義を聴くだけでなく、自ら事件や裁判例を通して、人権の諸問題と大切さを考えましょう。従って、具体的な判例へのレポートを求めることがあります。また、毎日の新聞・ニュースに目を通すことをすすめます。		
履修条件	憲法入門、統治機構を履修していることが望ましい。		
授業計画			
第1回	憲法とは何か、近代憲法の現代的展開	第17回	信教の自由
第2回	憲法と立憲主義	第18回	学問の自由
第3回	大日本国憲法と日本国憲法	第19回	表現の自由 I
第4回	日本国憲法の成立過程	第20回	表現の自由 II
第5回	人権宣言の歴史	第21回	集会結社の自由・通信の秘密
第6回	人権の観念・人権の内容	第22回	経済的自由権 I
第7回	人権の享有主体	第23回	経済的自由権 II
第8回	人権の限界—公共の福祉	第24回	人身の自由 I
第9回	二重の基準論・特別権力関係	第25回	人身の自由 II
第10回	私人間の人権保障	第26回	生存権
第11回	個人の尊厳と幸福追求権	第27回	国務請求権、参政権
第12回	法の下での平等 I	第28回	教育をうける権利
第13回	法の下での平等 II	第29回	労働基本権 I
第14回	思想良心の自由	第30回	労働基本権 II
第15回	振り返り学習	第31回	振り返り学習
第16回	前期定期試験	第32回	後期定期試験
テキスト	芦部信喜・高橋和之補訂『憲法第六版』(岩波書店)		
参考文献・資料	憲法判例百選 1・2(有斐閣)		
成績評価の方法	試験(80%)、レポート(10%)、毎回のコメントシート(10%)		
成績評価基準	【平成27年度(2015)以前に入学した学生】 優(100~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下) 【平成28年度(2016)以降に入学した学生】 秀(100~90点)、優(89~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下) ※出席回数が規定に満たない場合、試験を受けることができません。		
オフィスアワー	毎週木曜日5限目と金曜日4時限目		

学生への
メッセージ

憲法の重要性と現実性を考えていきましょう。